

2019年8月20日

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

兵庫県、たつの市、上郡町および佐用町と自動走行実用化に向けた連携協定を締結

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、兵庫県、たつの市、上郡町、佐用町および、アイサンテクノロジー株式会社（本社：名古屋市中区、代表取締役社長：加藤 淳）、株式会社ティアフォー（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：武田 一哉）、KDDI 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋 誠）、ダイナミックマップ基盤株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：稲畑 廣行）、神姫バス株式会社（本社：兵庫県姫路市、取締役社長：長尾 真）、株式会社ウエスト神姫（本社：兵庫県相生市、代表取締役：魚谷 観）と共に、兵庫県が開発した播磨科学公園都市において『播磨科学公園都市内における自動運転技術を活用した新たなモビリティサービスの実用化に向けた連携協定』（以下、「本協定」）を2019年8月19日に締結したことをお知らせします。

1. 協定の背景・目的

2021年には、山陽道と播磨科学公園都市および中国道を結ぶ播磨自動車道が全線開通する予定で、交流人口の増加が期待されています。兵庫県は、この開通を契機にまちの成熟を図るにあたり、播磨科学公園都市内において自動運転技術を活用した新たなモビリティサービス導入の検討を進めています。

本協定は、兵庫県など4自治体と企業7社が連携することにより、自動運転技術を活用したモビリティサービスを実現し、地域交通の利便性向上を図ることを目的としています。

2. 連携協定の主な内容

- （１） 地域の特性に即した自動運転技術の開発および環境整備に関すること
- （２） 次世代モビリティサービスの社会実装に向けた検討に関すること
- （３） その他、目的を達成するために必要な取組みに関すること

3. 当社の役割

自動運転車の「事故に備えた保険」の提供に加え、自動運転走行の安全を確保するための「走行前のリスクアセスメント」、無人車両に対する不安を取り除くための「走行中の見守り（監視）」により、安心と安全面でのサポートを行う予定です。

4. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、本協定に基づき、播磨科学公園都市周辺における自動走行実証実験の計画を進め、より一層の産官学連携を進めるとともに、「安心・安全な自動運転社会」の実現に向けて、研究をさらに加速させ、自動運転技術の社会実装に貢献していきます。

以上



【連携協定締結式の様子】